

Kansai University Psychological Research

Toshiya TANAKA (*Faculty of Letters, Kansai University*), **Chikako MAEDA and Yoshinori YAMADA** (*Graduate School of Psychology, Kansai University*)
 Recognition of Authenticity that Motivates Learning-Basic Structure of Learning as Participation- 1

Kazuaki SHIMIZU (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
 Factor Pattern, Communalities, Reliability, and Factor-Truthness of the Scale Constructed by Item-Factor Analysis 9

Shoji TSUCHIDA (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
 Being Canvassed for Commodities Futures Contracts and “Trust” in the Salespersons:Case-Studies of the Victims 25

Rikuko SEKIGUCHI (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
 An Attempt to Make the Japanese Version of Autobiographical Episodic Memory Test (Test Episodique de Mémoire du Passé autobiographique) 41

関西大学心理学研究

第1号 2010年3月

田中俊也・前田智香子・山田嘉徳
 学びを動機づける「正統性」の認知 –参加としての学びの基本構造– 1

清水和秋
 項目因子分析で構成した尺度の因子パターン, 共通性, 信頼性
 そして因子的真実性 9

土田昭司
 「商品先物取引」被害者にみる被勧誘と「信頼」の事例 25

関口 理久子
 自伝的エピソード記憶検査 (Test Episodique de Mémoire du Passé autobiographique) の日本語版作成の試み 41

関西大学心理学研究

第1号

関西大学大学院
心理学研究科

編集委員会

比留間太白* 池内裕美 雨宮俊彦 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文の掲載にあてる。ただし、第一著者となれるのは、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員、大学院生、および研究生に限る。
4. 論文は未公刊のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表(口頭、ポスター、講演等)は除く。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿の長さは、表題、要約、図表・注・文献を含め、原則として、日本語論文は刷り上がり10ページ以内、英語論文は6500語以内とする。
7. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2005年改訂版」に準拠したものとする。
8. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
9. 執筆者(第一著者)に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。